

地域のチカラを活かしたクラブ活動、はじまっています

子どもたちの可能性を育む放課後の時間を、地域のチカラで。そのような想いから、「地域部活動」が始まっています。例えば、ダンス。地域のつながりから、プロの方をお招きし、指導にあたって頂いています。

どんな講師の方？

講師の方はニューヨークでダンスを学ばれたプロフェッショナルの方と聞いたんですが。

そうなんです。ダンサーや振付師のお仕事もされつつ、レッスンも積極的にひらかれていて、西多世代交流センターでもレッスンをされています。二中でのトライアルのレッスンを経て、子どもたちからリクエストがあったこともあって、もっと参加の機会をひろげたいという想いからお願いをし、クラブ活動としての実施が叶いました。



anriさん

どんな活動をしているの？

頻度はどのくらい？

月3回、水曜日の15時半から90分、第二中学校の集会室で活動しています。そのうち1回は自主練分たちで練習する時間にあてています。

内容は？

始まったばかりのクラブなので、まずはダンスを楽しむことを大切にしています。そのうち発表の機会もつくっていきながら、少しずつ難易度をあげていくことも検討しています。最近では、生徒の好きな楽曲を持ち寄って、振り付けをしたりしています。

参加したくなったら？

対象は？

在校生で言うと、二中学生はもちろん、二小、井口小の6年生が対象です。5年生で希望される場合は、ご相談ください。卒業生、保護者や地域の方も参加可能です。

会費は？

月会費が三千円、年間保険料が八百円です。入会前の体験参加も歓迎しています。その場合は、1回限りとなりますが、五百円です。申し込み方法や問い合わせ先は？

あささんネットダンス担当（藤田）までお気軽にご連絡ください。

nishimitakes@gmail.com



ダンス以外にも「地域部活動」ってあるの？

その他の「地域部活動」は？

放課後の時間をより豊かに、ということでも、様々な取り組みが広がっています。が、「地域部活動」は、ダンス以外にも「お茶クラブ（茶道部）」、「空手道部」があります。二中では、「男子バスケットボール部」「女子ソフトテニス部」「卓球部」「女子バレーボール部」も、地域の方を講師にお招きし、活動が進められています。

もっと知りたくなった方へ



「コミュニティ・スクールガイド」はオンラインでも読めます！

そもそも、コミュニティ・スクールって！？というところから子ども大人も地域もみんなで一緒に育っていくための想いや考え方をまとめています。



「アクションプラン」や過去のアーカイブもオンラインで！

これまでの「CS委員会だより」の記事も含めてすべてオンラインでアーカイブしています。



CLUB

にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会だより

98号もくじ

・地域のチカラを活かしたクラブ活動、はじまっています

・もっと知りたくなった方へ（コミュニティ・スクールガイドを読もう！）

【特集】コーデイネートで生まれる地域の学び

今号のひとことフレーズ

この街で

大切な思い出を

たくさん

つくろう

第二小学校は、令和5年に創立130周年を迎えます。写真は、100周年の際に埋められたタイムカプセル。第二中学校は、同じく令和5年に70周年を迎え、井口小学校は、令和4年に50周年を迎えています。多くの方々のチカラをもとに、歴史を積み重ねてきた「にしみたか学園」。次の世代により良い未来のバトンを渡していきたいですね！



タイムカプセル
100周年のときに埋めた
タイムカプセルです。
9月30日に開封します



にしみたか学園キャラクター あささん



コミュニティ・スクール（以下CS）って何しているの？これはCS委員会のメンバーであれば、一度は尋ねられる問いです。実際のところ何をしているのか？立場も世代も越えて、地域の様々な方々が集まるこの委員会では、毎月集まりながら、学校はこれからどうあるべきか？地域はこれからどうあるべきか？子どもたちや学校や地域の困りごとはないか？あるとしたらどうやって解決していくか？後押しをした方が良い可能性の種はないか？あるとしたらどうやって応援していくか？などなど、話し合ったり、活動したりしています。

今回はその中でも、CS委員会のコーディネート部の活動に着目して、その取り組みを振り返ることで、CSの意味を改めて考えてみました。想いは真面目に活動は楽しく！ということで、都合が合うメンバーで集まって、途中の出入りも自由に楽しく雑談しつつ、あーでもないこーでもないど会話を重ねていきました。今回は、その様子を対話形式に再構成してお送りします。ぜひ、ご関心をお寄せくださいますと嬉しいです。（CS委員会に入りたいかも！？という方はぜひお問い合わせください！）

コーディネート部は 何をコーディネートしているの！？

にしみたか学園では、昨年、地域と学校が連携して行った授業「まちづくりプランナーになろう」が、文部科学大臣の表彰を受けました。まさに、そういった連携の裏側には、コーディネート部の支えがあると思うんですけど、具体的には毎年どのような活動をしているのでしょうか？

👉 授業の名称で言うと、二小・井口小にも「まちづくりプランナーになろう」「職業人の話を聞く」、二中では「職場体験」「職業人の話を聞く会」といったもので、地域を中心としながらも色々な人や場所を学校とつないで、より良い学びの機会をつくっているんですね。

講師の方や訪問先のリストを見ているんですが、膨大な数とユニークな職業の方々とで、びっくりしました。人も場所も合わせて、100をゆうに超えていますよね。地元の方に限らずですが、消防士・警察官・税理士・弁理士・航空管

制官・看護師・建築家・歌人・絵本作家・ミュージシャン・デザイナー・アクションスタント・役者・ダンサー・武道家…と、バラエティがスゴイです。ICUやルーテル学院大学といった近隣の大学の方や、子ども達にとって馴染みのある地域のお店もたくさん参加されているし、「まちづくり」という意味では、実際に三鷹のまちづくりの活動を進めている行政関係者や地域で活動されている方々が講師となって参加されていて、なんかもう職業体験のテーマパーク「キッザニア」みたいですね。

街が、本来キッザニア

👉 本来、街がその役割を果たすべきですよね。地域には、いろんな職場があるし、職業人も暮らし働いているわけですから、それが、毎日じゃないにしても年に数回だけでも、それらの場所や人が腕まくりして子ども達のための機会になっていったら素敵ですよね。

ホントですね。キッザニアに行きたくても行く機会がないということもありますもんね。普通の授業の中で取り組めたらやっぱり良いですね。子ども達の反応はどのようなものなのでしょうか？

👉 自分で選んだ方のお話を伺うというところもあり、話の伝わり方が違う気がします。目を輝かせながら耳を傾けている子ども達がたくさんいます。その職業人の中には、二小・井口小・二中の卒業生もいたりしますから、子どもたちにとっても身近に感じることも多いようです。普段出会わない雰囲気の大人も多いでしょうから、刺激があるようですよ。良い意味で先生ほくない人も多いですし、いろんな価値観を体感する機会になっているんだと思います。「あ〜、そういう生き方もあるんだ〜」って。

「職場体験」では、話を聞くだけでなく、実際の現場で、その職業を体験できるんですけどっけ？

👉 そうです。そうです。獣医さん、保育園や幼稚園、図書館、高齢者施設、スーパー、カフェ、農家…。実際の職場で、本当の仕事を数日に渡ってしっかり体験してくるんです。

確かな手応えを感じられる学び

👉 例えば、保育園や幼稚園ではしっかり保育士さんのアシスタントとして、園児たちのケアをしたり遊び相手になったりしているそうで、その分、しっかり参画し働くことこの喜びを感じているそうです。

園児にとっても嬉しいし、その喜んでる園児と向き合うことで、こちらもより嬉しくなるという、良い循環が生まれそうです。

👉 その場で必要とされているという実感は、何ものにも代えられないですね。そういった手応えを感じられる体験をできるだけ多く提供してあげたいですね。実際に「職場体験」での経験が印象に残って、その後の進路を考える生徒も多いそうです。生徒のみなさんの真剣な様子を受けて、協力してくれている方々も「楽しかった！」「来年もぜひ！」となる傾向があります。

えー、なんか嬉しくなります。心の底から「良かった〜！」という経験って、すぐにじゃないにしても必ず人生経験の中で生きてきますよね。

👉 そうですね。にしみたか学園としては、小中一環として、そういった地域での体験を積み重ねていけるのが良いですね。

贈り物のような学びの場

話が戻るんですが、この膨大な協力先との調整を、コーディネート部がになっているんですね。正直なところ、大変そうです。

👉 そうですよ。学校の外の、地域や企業や団体の方々のお力を借りて学びの機会をつくっていくということは、スケジュール調整だけでも、骨が折れるものです。でも、だからこそ、学校任せにははいけませんよね。先生方も必ずしも地元で暮らしているわけではありませんから、地域との調整は大変です。できるだけ先生には子ども達と向き合う時間をつくってもらいたいので、そこはやっぱりCSの出番ですよ。「この人、この場所を、子どもたちに出会わせたい！」と思えることって、幸せなことだと思うんですね。

その気持ちは、教育の原点と言っても良いような気がします。

👉 自分たち自身が、子どもの頃に地域の大人にたくさん面倒を見てもらって、それがすごい良い思い出になっているんですね。だから、同じような体験を提供してあげたいですし。

贈り物としての教育という感じですね。地域を中心とした人間関係のなかで、子ども達が育まれて、またその営みが、地域の人間関係を豊かにしていく。そういう好循環を生んでいくというのが、まさにCSなんだろうなと思いました。

👉 コーディネート部の活動をしていると、学校と繋がりをもちたいと思って下さっている団体の方々が結構いらっしゃることを実感します。だからこそ、幸せな橋渡しをこれからもしていけたらと考えています。



👉 協力を頂いている方々の膨大なリスト。コーディネート活動は、地域の魅力を再発見する機会にもなるそうです。

二小でひらかれた「職業人の話を聞く」の後には、講師の方々や教職員との交流会も。立場も違うことも手伝って、様々な話が刺激になるそうです。

